

私立大の定員割れ大学数は減少

河合塾

2017/8/4

日本私立学校振興・共済事業団がこのほど2017年度の私立大学・短期大学の入学志願動向の調査結果を発表した。志願者数は大学で増加、短大で減少した。なお、入学者数が入学定員を下回る定員割れの学校数は、昨年は前年より増加していたが、今春は私立大学・短期大学ともに減少に転じた。以下、調査結果から浮かび上がった2017年度入試の特徴を振り返る。

■私立大の延べ志願者数は5年連続増加

2017年度の私立大の延べ志願者数は3,882,573人で、前年より約25万3千人増（前年比107.0%）となった【表1】。5年連続の志願者増となる。8月3日に発表された学校基本調査（速報）によると、今春の大学進学率（過年度卒含む）は52.6%と、前年記録した過去最高を更新している。また、私立大では近年、複数方式に出願した際の受験料割引や一度の出願で複数学部・学科を併願できる仕組みを導入する大学が増加、受験生一人あたりの受験校数増加につながっており、これらが私立大の志願者増加の要因であろう。

今春の合格者数は1,238,199人で、前年より約7千7百人減少した（前年比99.4%）。合格者数は昨年までの7年間、連続して増加していた。今春は入学定員は増加を続けているが、合格者数は減少に転じた。私立大では、定員超過による国からの補助金不交付に関わる定員超過率が年々厳格化されており、合格者数を絞り込む大学が増えたことが、この結果につながった。

なお、私立短期大の志願者数は前年より約4千8百人減の78,339人であった【表2】。入学者数も約1千8百人減の53,389人となった。短期大は今春も7校が募集停止しており、入学定員は約2千人減少している。入学者数もそれに伴い減少しており、定員充足率は90.3%となった。

■定員割れ大学は28校減、229校に

【グラフ3】は私立大の定員割れ学校数の推移である。

定員割れ大学の割合は1990年代後半から徐々に上昇し、2000年代前半には約3割で推移していた。2006年度から再び上昇をはじめ、近年は40%前後で推移している。

【表1】私立大入試の実施状況

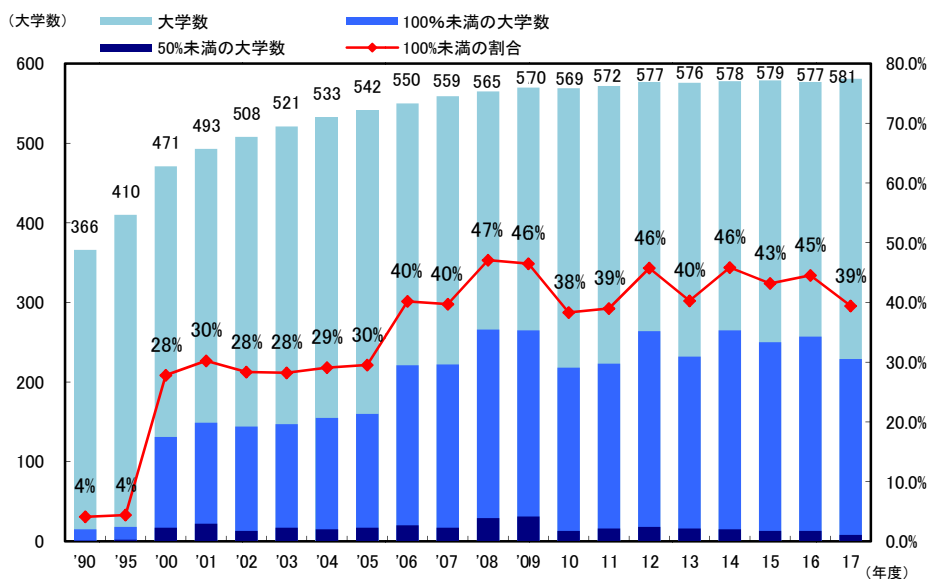
年度	大学数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
08	565	448,345	3,063,047	2,941,542	1,056,977	478,000	106.6%
09	570	449,819	3,071,570	2,952,654	1,039,316	479,156	106.5%
10	569	450,816	3,178,078	3,062,895	1,054,804	489,030	108.5%
11	572	452,997	3,210,052	3,091,333	1,079,546	481,959	106.4%
12	577	455,780	3,198,128	3,074,603	1,117,758	474,893	104.2%
13	576	458,456	3,390,069	3,266,422	1,147,178	483,957	105.6%
14	578	460,251	3,464,428	3,329,843	1,195,738	477,630	103.8%
15	579	463,697	3,513,499	3,376,430	1,241,262	487,064	105.0%
16	577	467,494	3,629,273	3,489,799	1,245,865	488,210	104.4%
17	581	477,667	3,882,573	3,732,228	1,238,199	499,678	104.6%

※日本私立学校振興・共済事業団資料より(表2～表6も同様)

【表2】私立短大入試の実施状況

年度	大学数	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
08	360	83,102	115,545	113,133	92,355	72,740	87.5%
09	356	79,267	104,567	102,520	85,911	69,075	87.1%
10	344	75,166	105,458	103,552	84,222	68,305	90.9%
11	338	72,369	102,701	100,580	79,858	64,862	89.6%
12	330	68,899	96,664	94,681	74,918	60,678	88.1%
13	324	66,564	98,087	96,011	75,077	61,296	92.1%
14	320	64,664	93,377	91,398	72,672	58,561	90.6%
15	315	62,464	89,349	87,680	71,586	57,951	92.8%
16	311	61,251	83,116	80,684	67,381	55,171	90.1%
17	304	59,116	78,339	76,131	64,246	53,389	90.3%

【グラフ3】私立大 定員割れ学校数の推移



今春の定員割れ大学は前年より 28 校減少し 229 大学に、割合は 39%に下降した。定員充足率 50%未満となっている定員割れが深刻な大学の数も、5 校減少して 8 校となった。

私立短期大の定員割れ学校数は昨年より 4 校減少して 204 校となった。これにより定員割れの割合は 67.1%となった。3 校に 2 校は定員割れという状況である。

■定員充足率は一大規模大、東京でダウン、定員超過率厳格化の影響

【表 4】は定員充足率を大学の規模別にみたものである。入学定員 5 百人を境に、定員規模の大きい大学群では充足率が 100%を超えている一方で、規模の小さい大学群では定員割れとなっている。とくに 1 百人以上 2 百人未満の大学で充足率が低くなっており、学生確保に厳しい状況が続いている。なお、前述の入学定員超過率の厳格化が影響するのは、入学定員 1 千人以上の大学である。このうち 1 千 5 百人以上 3 千人未満の大学で充足率は昨年の 110.9%から 108.5%とダウン、また 3 千人以上の大学で 109.2%から 106.0%へと大きく下がっている。

地域別では、東京、東海、京都・大阪など、大都市圏で充足率が高い【表 5】。ただし、東京は昨年に比べ、充足率が 1.7%ダウンしている。前述の定員規模の大きい大学は東京に多いことが影響している。一方で、北海道、甲信越、中国、四国などで充足率は 100%を割り込む。なかでも四国の充足率は 91.9%と 1 割近く割り込んでいる。

【表 4】私立大 規模別 定員充足率

入学定員規模	大学数	入学定員	入学者数	定員充足率
100 人未満	33	2,410	2,276	94.4%
100 人以上 200 人未満	103	14,601	13,687	93.7%
200 人以上 300 人未満	88	21,074	20,217	95.9%
300 人以上 400 人未満	65	22,413	21,634	96.5%
400 人以上 500 人未満	44	19,525	19,406	99.4%
500 人以上 600 人未満	44	23,631	23,837	100.9%
600 人以上 800 人未満	43	29,236	30,230	103.4%
800 人以上 1,000 人未満	32	28,918	30,996	107.2%
1,000 人以上 1,500 人未満	51	63,789	67,396	105.7%
1,500 人以上 3,000 人未満	54	109,691	119,018	108.5%
3,000 人以上	24	142,379	150,981	106.0%
合計	581	477,667	499,678	104.6%

【表 5】私立大 地域別 定員充足率

地域	大学数	入学定員	入学者数	定員充足率
北海道	26	11,095	10,945	98.6%
東北	33	13,210	13,250	100.3%
北関東	22	10,874	11,126	102.3%
南関東(東京除く)	76	54,581	56,628	103.8%
東京	113	175,024	187,859	107.3%
甲信越	20	5,230	5,082	97.2%
北陸	12	5,140	5,251	102.2%
東海	63	43,907	45,779	104.3%
京都・大阪	76	79,266	83,605	105.5%
近畿(京都・大阪除く)	43	26,826	27,939	104.1%
中国	36	17,665	16,879	95.6%
四国	7	4,130	3,795	91.9%
九州	54	30,719	31,540	102.7%
合計	581	477,667	499,678	104.6%

■文系は志願倍率上昇続く、歯学・薬学・家政学では定員充足率が 100%を割り込む

学部系統別の状況では、医学の志願倍率 (28.6 倍) の高さが目を引く【表 6】。医学では、志願者が前年から 2 千 3 百人増加した。国際医療福祉大に医学部が新設されたため、入学定員も増加していることから、志願倍率は前年より 0.7 ポイントダウンとなった。このほか理系の学部で、理・工学系 (11.3 倍)、農学 (11.0 倍)、薬学 (8.8 倍) と高倍率になっている。

定員充足率が 100%を割り込んでいるのは歯学、薬学、家政学である。歯学の定員充足率は 81.8%と全学部系統でも飛びぬけて低い。また、薬学は志願倍率が高いにも関わらず、定員充足率は 100%を割り込むという結果になった

一方、今春も文系学部が人気となっており、人文科学系、社会科学系のいずれも志願者が増加した。人文科学系では、志願倍率が 0.6 ポイントアップの 8.0 倍、社会科学系では 0.8 ポイントアップの 8.5 倍まで上昇した。

【表 6】私立大 学部系統別の入試動向

学部系統	学部数	入学定員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
医学	31	3,998	114,359	4,025	28.6	100.7%
歯学	17	2,063	9,279	1,687	4.5	81.8%
薬学	57	11,517	101,109	11,482	8.8	99.7%
保健系	209	32,850	179,962	33,561	5.5	102.2%
理・工学系	149	61,579	694,118	64,685	11.3	105.0%
農学系	18	7,741	85,357	8,174	11.0	105.6%
人文科学系	240	69,921	556,791	73,806	8.0	105.6%
社会科学系	515	168,025	1,421,465	179,664	8.5	106.9%
家政学	77	16,961	77,566	16,655	4.6	98.2%
教育学	91	15,893	104,972	16,294	6.6	102.5%
体育学	10	4,942	16,720	5,348	3.4	108.2%
芸術学	56	14,184	43,312	14,380	3.1	101.4%
その他	273	67,993	477,563	69,917	7.0	102.8%
合計	1,743	477,667	3,882,573	499,678	8.1	104.6%